

參考資料

I 第6次高萩市総合計画後期基本計画策定経緯概要

期 日	項 目	内 容
令和6年12月4日(水) ～12月20日(金)	□市民アンケート調査	□高萩市に住所を有する18歳以上の住民(配布数3,000件) □高萩市に住所を有する高校生相当年齢の住民(配布数623件)
令和7年6月30日(月)	□第1回高萩市総合計画審議会 □第1回高萩市まち・ひと・しごと創生有識者会議	□第6次総合計画後期基本計画策定の方針及びスケジュール等について □第6次総合計画及び第2期創生総合戦略の実施状況について □市民アンケート結果について □第6次総合計画後期基本計画の構成・体系(案)について □人口ビジョンについて
令和7年7月29日(火)	市長と学生が語る『未来のたかはぎ』 ～未来創造 トークセッション～	□テーマ ①高萩市のここが好き、でも、ここはモヤモヤ ②自分が希望する未来(自分の将来、高萩市の将来)について ③将来、高萩市に住むことについて(不安や希望、あったら良いと思うもの) ④高萩市のイメージアップを図るためには、何が必要だと思いますか。また、そのために学生の皆さんが取り組めると思うことは何かありますか。 □参加者：10名
令和7年8月8日(金)	『高萩市はたちの集い実行委員』ワークショップ	□テーマ ①20年後、私たちはこうありたい、高萩市はこうあって欲しい ②まちづくりのアイデアをまとめよう □参加者：5名
令和7年8月26日(火)	『市長と子育て世代が語る たかはぎのこどもの未来』 ～子育て世代のトークセッション～	□テーマ ①高萩市での子育て環境について ②こどもの未来について ③自分が希望する未来について ④将来、高萩市に住むことについて □参加者：9名
令和7年10月6日(月)	□第2回高萩市総合計画審議会 □第2回高萩市まち・ひと・しごと創生有識者会議	□第6次高萩市総合計画後期基本計画素案について □第2期高萩市創生総合戦略のKPI達成状況について
令和7年11月27日(木)	□議会全員協議会	□第6次高萩市総合計画後期基本計画の説明
令和7年12月1日(月) ～12月22日(月)	□パブリックコメント	□オンライン、窓口、郵送で受付 □提出意見：3件
令和8年2月5日(木)	□第3回高萩市総合計画審議会 □第3回高萩市まち・ひと・しごと創生有識者会議	□第6次高萩市総合計画後期基本計画(案)について □答申書(案)について
令和8年3月2日(月)	□答申	□総合計画審議会から第6次高萩市総合計画後期基本計画の答申を受ける

Ⅱ 諮 問 書



高企財第 75 号

令和7年6月30日

高萩市総合計画審議会 会長 様

高萩市長 大部 勝 規



第6次高萩市総合計画後期基本計画（案）について（諮問）

このことについて、高萩市総合計画条例第4条第1項の規定に基づき、貴審議会の意見を賜りたく下記のとおり諮問いたします。

記

1 諮問事項

第6次高萩市総合計画後期基本計画の策定に関する審議

2 諮問理由

本市では、令和2年度に「第6次高萩市総合計画」を策定し、「地域力が笑顔を育むまち 高萩 ～みんなが豊かさを実感できるまちを目指して～」を将来の都市像とし、前期基本計画に基づく施策を推進してきました。

本市を取り巻く社会情勢や地域動向は、少子高齢化や人口減少等による課題が顕在化しており、国が掲げる地方創生2.0の取組も踏まえ、本市の魅力ある地域資源の活用、市民協働を進めながら、持続可能で活力あるまちづくりに取り組む必要があるため、令和8年度から5年間の第6次高萩市総合計画後期基本計画の策定に関して諮問し、意見を求めるものです。

Ⅲ 答 申 書

令和 8 年 3 月 2 日

高萩市長 大 部 勝 規 様

高萩市総合計画審議会
会長 小 原 規 宏

第 6 次高萩市総合計画後期基本計画（案）について（答申）

令和 7 年 6 月 3 0 日付け高企財第 7 5 号で諮問のあった「第 6 次高萩市総合計画後期基本計画（案）」について、本審議会において慎重に審議した結果、下記の意見を付して答申する。

記

- 1 人口減少が急速に進んでいる中で、市民協働や市民との対話などを通じ、高萩市の現状を認識することにより、現場での解決力の強化に努めていただきたい。
- 2 本計画の推進にあたっては、社会情勢の変化を踏まえながら柔軟に取り組むとともに、今後も市民の声に積極的に耳を傾けながら、市民参画の促進や事業者との連携を図り、市民、事業者、行政と三者の協働によるまちづくりに努めていただきたい。
- 3 これから 5 年間の施策の推進においては、行政のトップがリーダーシップを発揮して、選択と集中を意識した取組みを推進するとともに、高萩市の取組みの発信の強化に努めていただきたい。
- 4 本計画の推進にあたっては、高萩市が目指す将来のコンパクトシティの具体的な姿が明確になるよう、各種個別計画と整合・連動を図るよう努めていただきたい。
- 5 本計画書を、多くの市民が共有できるよう、様々な工夫をしていただきたい。

IV 高萩市総合計画審議会高萩市まち・ひと・しごと創生有識者会議 委員名簿

氏名	役職等	備考
あらい せいいちろう 荒井 清一郎	高萩市商工会 会長	副会長
わだ よしみち 和田 吉道	常陸農業協同組合 常務理事	
かめい まさる 亀井 優	松久保及び手綱工業団地経営協会 会長 (株式会社HAXコーポレーション 代表取締役)	
きこ ともゆき 喜古 朋幸	高萩公共職業安定所 所長	
おばら のりひろ 小原 規宏	茨城大学人文社会科学部 准教授	会長
さわばた ともよし 澤端 智良	茨城キリスト教大学経営学部 准教授	
なまため まさゆき 生田目 雅之	株式会社常陽銀行高萩支店 支店長	
きのした かつひろ 木下 勝弘	株式会社筑波銀行北茨城・高萩エリア磯原支店 支店長	
さしだ いたる 指田 到	高萩市勤労者協議会 会長	
ふたかた よしろう 二方 善郎	株式会社茨城新聞社 日立支社長兼常陸太田支局長	
はやし ゆういち 林 雄一	中小企業診断士 (公益財団法人茨城県中小企業振興公社)	
わりがや まさる 割ヶ谷 大	一般社団法人高萩青年会議所 第56・57代理事長	
さとう ゆかり 佐藤 ゆかり	社会福祉法人同仁会同仁東保育園 園長	
よこくら としあき 横倉 稔明	一般社団法人茨城県多賀医師会 会長	

(順不同・敬称略)

V 高萩市まちづくり市民アンケート結果の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

第6次高萩市総合計画後期基本計画及び第3期高萩市創生総合戦略の策定にあたり、市政に関する市民の意向等を把握し、計画づくりに反映させることを目的とします。

(2) 調査方法

ア 調査対象：一般市民

- ◆調査期間 : 令和6年(2024年)12月4日(水)～12月20日(金)
- ◆調査対象者 : 高萩市に住所を有する18歳以上の住民を無作為抽出
- ◆調査方法 : 郵送による配布、郵送及びWebによる回収
- ◆回収率 : 31.3% (配布3,000件、有効回収940件→郵送814件、Web126件)

イ 調査対象：若年層

- ◆調査期間 : 令和6年(2024年)12月4日(水)～12月20日(金)
 - ◆調査対象者 : 高萩市に住所を有する高校生相当年齢の住民
 - ◆調査方法 : 郵送による配布、郵送及びWebによる回収
 - ◆回収率 : 20.2% (配布623件、有効回収126件→郵送63件、Web63件)
-

(3) 留意事項

回答の割合は、選択肢ごとに小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合があります。

また、複数回答可の設問の場合、すべての回答割合を合計すると100%を超える場合があります。

2. アンケート結果の分析

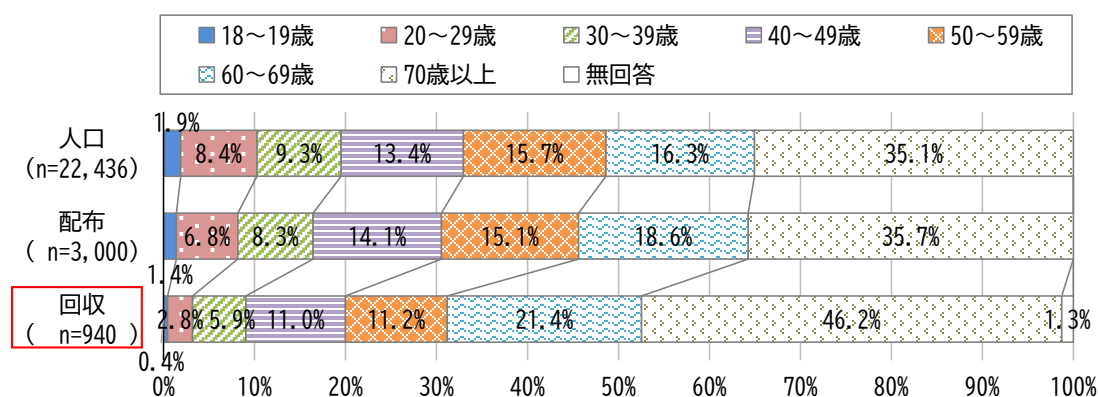
(1) 回答者属性

回答者の年齢：高齢化の進行、高齢者の回答率の高さにより 60 歳以上が 7 割近く

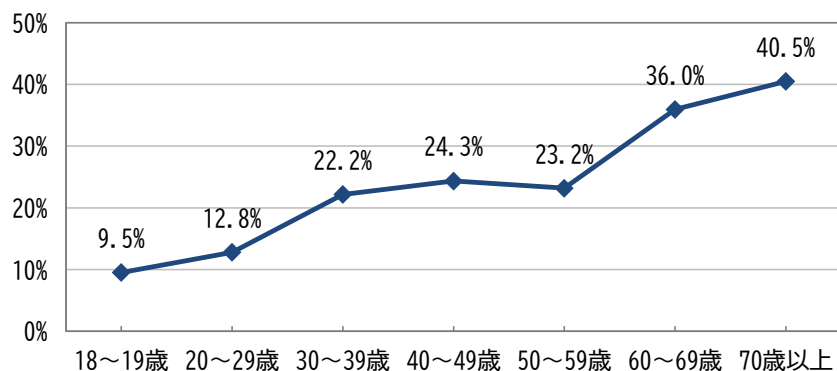
今回の市民を対象とした調査では、60 歳以上が 7 割近くを占めていますが、その要因として、令和 6 年 10 月 1 日時点の本市の 18 歳以上の人口構成をみると、70 歳以上が 35.1%、60 歳代が 16.3%で 60 歳以上が 5 割を超える状況となっています。このため、無作為抽出した市民アンケートの配布割合も同様の構成となっています。

さらに、年齢別の回収率をみると、高齢になるほど回収率が上がっており、60 歳以上の回答が増えたもう一つの要因となっています。

【本市の年齢別人口、市民アンケート：配布・回収割合の比較】



【市民アンケート：年齢別回収率】



(2) 高萩市の暮らし・住みやすさ・幸福感

暮らしやすさ：59 歳以下は『暮らしにくい』と感じる割合が約 4 割とやや高い

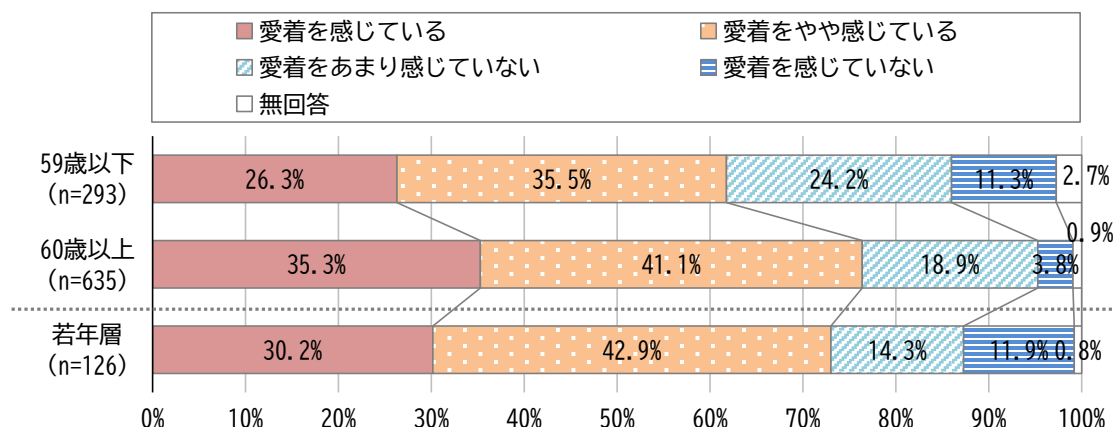
暮らしやすさについては、『暮らしやすい』が約 6 割、『暮らしにくい』が約 3 割であるものの、59 歳以下では『暮らしにくい』と感じる割合が約 4 割と高くなっており、今後の地方創生などの視点では、生産年齢人口の暮らしやすさが課題と考えられます。

また、以前（10 年くらい前）と比べて『住み良くなった』は約 1 割で、『住みにくくなった』は 3 割となっており、特に 60 歳以上では『住みにくくなった』と感じる割合が高くなっています。

市への愛着：59歳以下は『愛着を感じている』が約6割とやや低い

高萩市への愛着については、『愛着を感じている』が全体では約7割となっています。年齢別では、60歳以上と若年層で『愛着を感じている』が7割を超えているものの、59歳以下で約6割と若干低くなっており、現役世代での愛着の低さが課題と考えられます。

【高萩市への愛着：市民（年齢別）・若年層】



良いところ：若年層・59歳以下は「花貫溪谷などの景色」、60歳以上は「穏やかな気候」

高萩市の良いところをみると、年齢別では若年層と59歳以下では「花貫溪谷や里山などの景色」が1位となっていますが、60歳以上では「気候が穏やか（夏が涼しい等）で暮らしやすいこと」が1位となっており、シニア世代では穏やかな気候も良さの一つとなっています。

【高萩市の良いところ：市民（年齢別）・若年層】

59歳以下 (n=293)：高萩市の良いところ		
1位	花貫溪谷や里山などの景色	39.2%
2位	気候が穏やか（夏が涼しい等）で暮らしやすい	31.4%
3位	高戸海岸や赤浜海岸など海岸線の景色	29.0%
4位	常磐自動車道や国道6号、常磐線などを利用して移動しやすい	28.0%
5位	スーパーモール高萩やイオンなどの商業施設	24.6%

60歳以上 (n=635)：高萩市の良いところ		
1位	気候が穏やか（夏が涼しい等）で暮らしやすい	53.2%
2位	花貫溪谷や里山などの景色	47.1%
3位	スーパーモール高萩やイオンなどの商業施設	32.1%
4位	常磐自動車道や国道6号、常磐線などを利用して移動しやすい	29.0%
5位	高戸海岸や赤浜海岸など海岸線の景色	24.9%

若年層 (n=126)：高萩市の良いところ		
1位	花貫溪谷や里山などの景色	43.7%
2位	高戸海岸や赤浜海岸など海岸線の景色	38.1%
3位	スーパーモール高萩やイオンなどの商業施設	22.2%
4位	高萩まつりや紅葉まつりなどのイベント	21.4%
5位	気候が穏やか（夏が涼しい等）で暮らしやすい	20.6%

高萩市での暮らしの幸福度：59歳以下では幸福度（平均点）がやや低い

高萩市での暮らしにおける幸福度は全体の平均点では5.35点ですが、年齢別にみると、60歳以上が5.59点であるのに対して59歳以下の平均点が4.82点とやや低くなっています。

一方、若年層では20年先『幸せな暮らしを送ることができている』との回答が8割近くあり、59歳以下も含めて、高萩市で希望をかなえることができる施策が必要となっています。

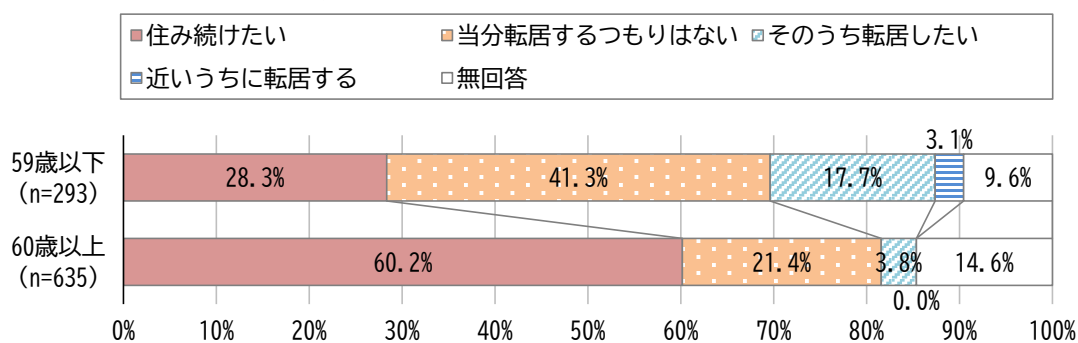
居留意向：59歳以下では『転居』意向が約2割で、理由は「日常生活が不便」

若年層では『将来は住みたくない』が約半数、理由は「やりたい仕事がないから」

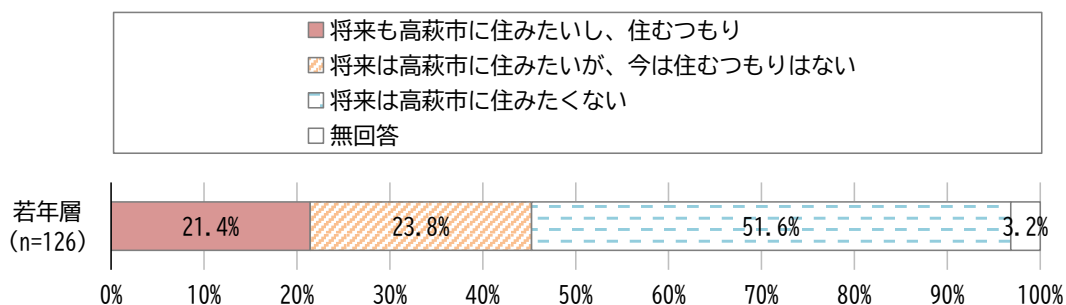
高萩市で『住み続けたい（「当分転居するつもりはない」も含む）』意向は全体では8割近くですが、年齢別にみると、59歳以下では『住み続けたい』が約7割、『転居する又はしたい』が約2割となっています。59歳以下の人の『住み続けたい』理由は「両親や親戚が近くにいる」や「職場が近い」などで、『転居したい』理由は「日常生活が不便」、「道路・交通の便が悪い」などとなっています。

一方、若年層では、『将来高萩市に住みたい』割合は約4.5割で、『将来は高萩市に住みたくない』が約5割となっており、その理由として「自分のやりたい仕事が高萩市にないから」が最も多くとなっています。

【今後の居留意向：市民（年齢別）】



【将来の居留意向：若年層】



(3) 結婚・出産・子育ての考え方

結婚：59歳以下では「結婚したことがない」が約3割

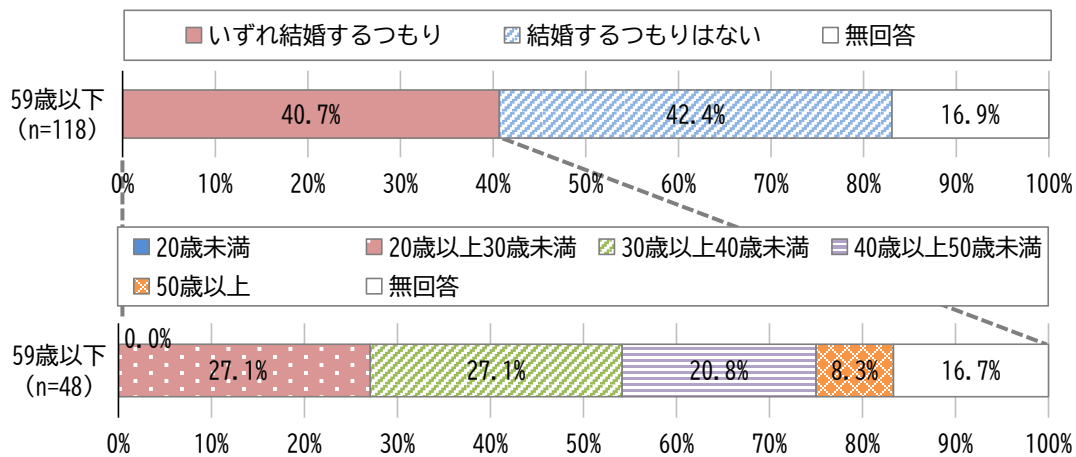
結婚歴がある割合は、全体では約8割ですが、年齢別で見ると59歳以下では約3割が「結婚したことがない」と回答しており、その主な理由として、「適当な相手にまだ出会っていないから」「独身のほうが自由で気楽だから」などとなっています。

結婚に対する考え等：高校生、59歳以下では結婚や年齢へのこだわりは高くない

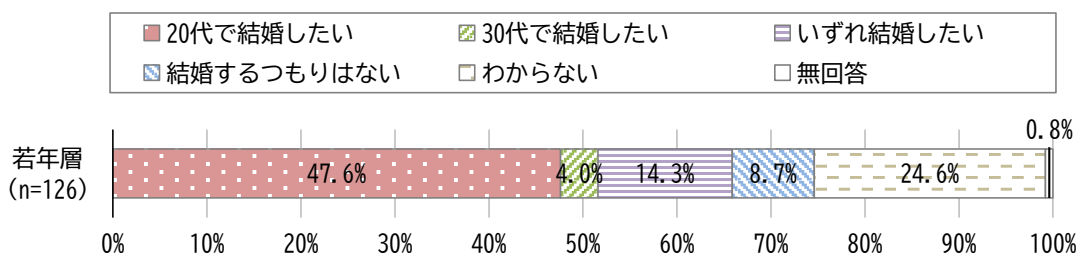
現在独身の人の今後について、59歳以下で「いずれ結婚するつもり」「結婚するつもりはない」がともに約4割で、いずれ結婚する場合の自分の年齢については、40歳未満までが約5.5割で、40歳以上が約3割となっています。

一方、高校生の結婚に対する考え方をみると、『結婚したい』割合は合わせて6割以上ですが、「20代」又は「30代で結婚したい」は約5割となっており、結婚の年齢や結婚そのものへのこだわりは高くないことがうかがえます。

【結婚に対する考え、年齢：59歳以下（現在独身）】



【結婚に対する考え：若年層】

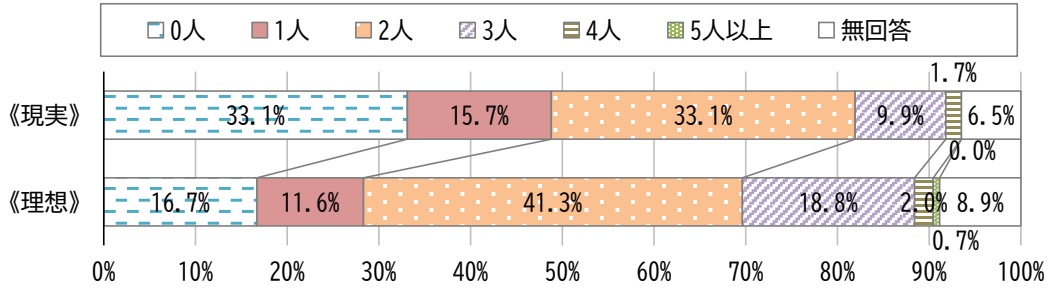


子どもの数：59歳以下では「理想の数よりも少ない」が約3割、理由は「経済的負担」

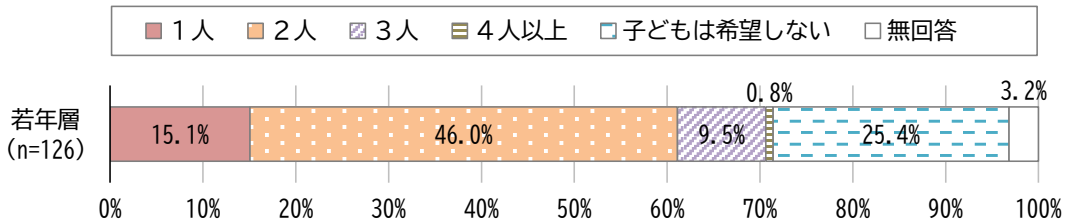
子どもの数を59歳以下で見ると、現実の数は「2人」と「0人」が約3割となっていますが、理想の数としては「2人」が約4割、「3人」が約2割となっています。また、約3割の人が「理想の人数よりも少ない」と回答しており、その理由として、「子育てや教育への経済的負担」が最も大きな理由となっています。

また、若年層の子どもの希望については、「2人」が最も多く、『子どもを欲しい』割合は7割以上となっていますが、「子どもは希望しない」という回答が全体の1/4程見られます。

【子どもの数（現実と理想）：59歳以下（n=293）】



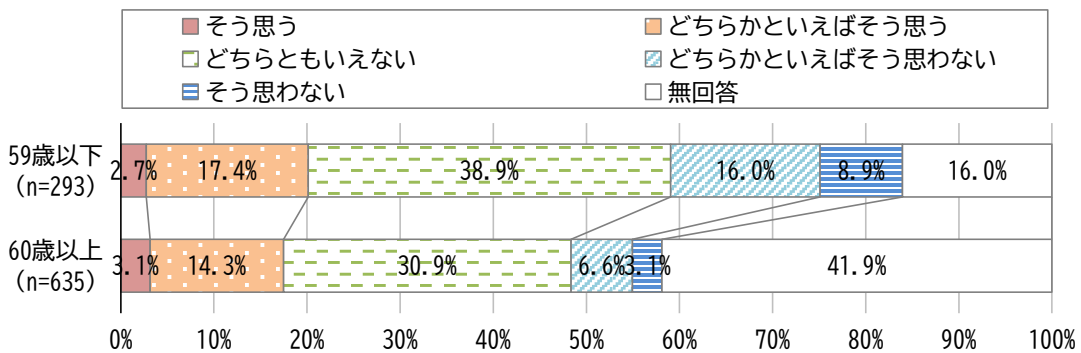
【子どもの希望：若年層】



子育て環境の整備：59歳以下では『そう思わない』（整っていない）が若干多い

子どもを安心して産み育てられる環境について年齢別にみると、59歳以下では『そう思う』（整っている）割合が約2割、『そう思わない』（整っていない）割合が約2.5割で、『そう思わない』割合が約5ポイント高くなっています。

【子どもを安心して産み育てられる環境：市民（年齢別）】



(4) デジタルの活用

利用しているデジタル端末：59歳以下の約9割、60歳以上の約7割がスマホを利用

利用しているデジタル端末ではスマートフォンが最も多く、年齢別にみると、59歳以下では約9割、60歳以上では約7割がスマートフォンを利用しています。

【利用しているデジタル端末：市民（年齢別）】

59歳以下 (n=293)：利用しているデジタル端末		
1位	スマートフォン	91.8%
2位	テレビ	64.2%
3位	ノートパソコン	31.7%
4位	タブレット	25.3%
5位	ゲーム機	18.4%

60歳以上 (n=635)：利用しているデジタル端末		
1位	スマートフォン	71.8%
2位	テレビ	70.2%
3位	ノートパソコン	23.3%
4位	従来型の携帯電話（ガラケー）	13.9%
5位	デスクトップパソコン	9.1%

利用しているインターネットサービス：59歳以下は「インターネットショッピング」、60歳以上は「地図・ナビゲーション」、若年層は「SNS」をよく利用している

利用しているインターネットサービスを年齢別にみると、59歳以下では「インターネットショッピング」が最も多く、60歳以上では「地図・ナビゲーション」「情報検索・ニュース」などが多くなっています。

若年層では、「SNS」が約9割で最も多く、次いで「情報検索・ニュース」「ソーシャルゲーム・オンラインゲーム」「動画配信・音楽配信」などとなっています。

【利用しているインターネットサービス：市民（年齢別）、若年層】

59歳以下 (n=293) : 利用しているインターネットサービス		
1位	インターネットショッピング	76.5%
2位	情報検索・ニュース	70.0%
3位	地図・ナビゲーション	69.6%
4位	動画配信・音楽配信	60.8%
5位	支払い・決済(クレジットカード等)	58.4%

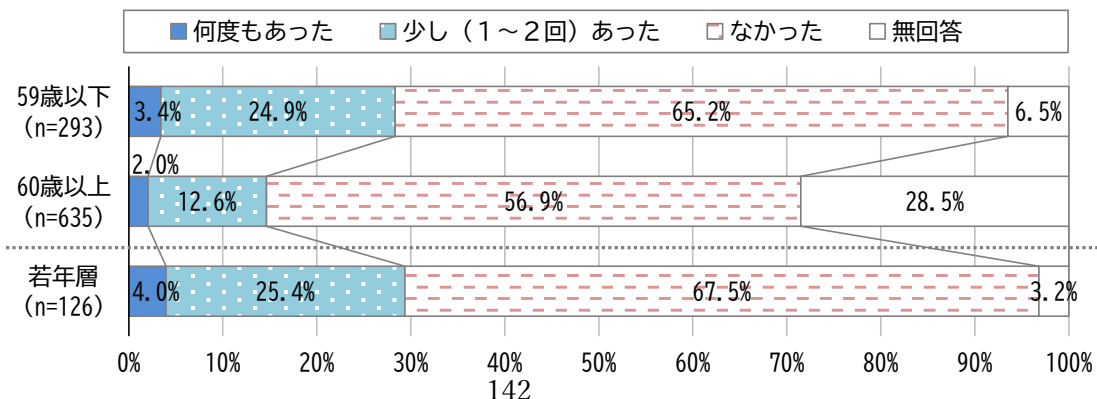
60歳以上 (n=635) : 利用しているインターネットサービス		
1位	地図・ナビゲーション	42.2%
2位	情報検索・ニュース	41.9%
3位	支払い・決済(クレジットカード等)	26.6%
4位	インターネットショッピング	26.3%
5位	利用したことがない	25.7%

若年層 (n=126) : 利用しているインターネットサービス		
1位	SNS	90.5%
2位	情報検索・ニュース	67.5%
〃	ソーシャルゲーム・オンラインゲーム	67.5%
4位	動画配信・音楽配信	66.7%
5位	地図・ナビゲーション	65.9%

デジタル活用の際のトラブル：若年層、59歳以下では『あった』割合が約3割

デジタルサービスにおけるトラブルの経験について年齢別にみると、59歳以下ではトラブルが『あった』割合が約3割あり、日常にSNSを活用する若年層でも約3割となっており、注意喚起が必要と考えられます。

【デジタル活用の際のトラブル：市民（年齢別）、若年層】



利用しているSNS：全世代で利用が多いのが「LINE」「YouTube」、若年層では「Instagram」も多い
 利用しているSNSの種類を年齢別にみると、59歳以下では「LINE」「YouTube」の順に多く、
 60歳以上では「LINE」「YouTube」の順に多いものの、「利用したことがない」が約3割となっ
 ています。若年層では、「LINE」「YouTube」に次いで、「Instagram」が約8.5割と多くなっています。

【利用しているSNS：市民（年齢別）、若年層】

59歳以下 (n=293)：利用しているSNS		
1位	LINE (ライン)	84.0%
2位	YouTube (ユーチューブ)	75.8%
3位	Instagram (インスタグラム)	63.8%
4位	TikTok (ティックトック)	24.9%
5位	X (エックス) ※旧Twitter(ツイッター)	24.6%

60歳以上 (n=635)：利用しているSNS		
1位	LINE (ライン)	46.6%
2位	利用したことがない	32.4%
3位	YouTube (ユーチューブ)	29.8%
4位	Instagram (インスタグラム)	7.9%
5位	Facebook (フェイスブック)	5.5%

若年層 (n=126)：利用しているSNS		
1位	LINE (ライン)	96.8%
2位	YouTube (ユーチューブ)	93.7%
3位	Instagram (インスタグラム)	85.7%
4位	X (エックス) ※旧Twitter(ツイッター)	64.3%
5位	TikTok (ティックトック)	61.9%

高萩市公式SNSへの関心：全世代で利用が「見たことがない」が約6割～約7割

高萩市公式SNSについて、年齢別にみると、「見たことがない」は59歳以下で6割弱、60歳以上で7割、若年層でも7割弱となっており、SNSの利用度に関わらず、全世代で関心が低いことが課題と考えられます。

【高萩市公式SNSへの関心：市民（年齢別）、若年層】

59歳以下 (n=293)：見たことがある高萩市公式SNS		
1位	見たことがない	56.7%
2位	LINE (ライン)	19.1%
3位	X (エックス) ※旧Twitter(ツイッター)	14.3%

60歳以上 (n=635)：見たことがある高萩市公式SNS		
1位	見たことがない	71.2%
2位	LINE (ライン)	8.8%
3位	YouTube (ユーチューブ)	4.7%

若年層 (n=126)：見たことがある高萩市公式SNS		
1位	見たことがない	66.7%
2位	X (エックス) ※旧Twitter(ツイッター)	15.1%
3位	Instagram (インスタグラム)	10.3%

(5) 市の取り組みに対する評価（満足度・重要度）

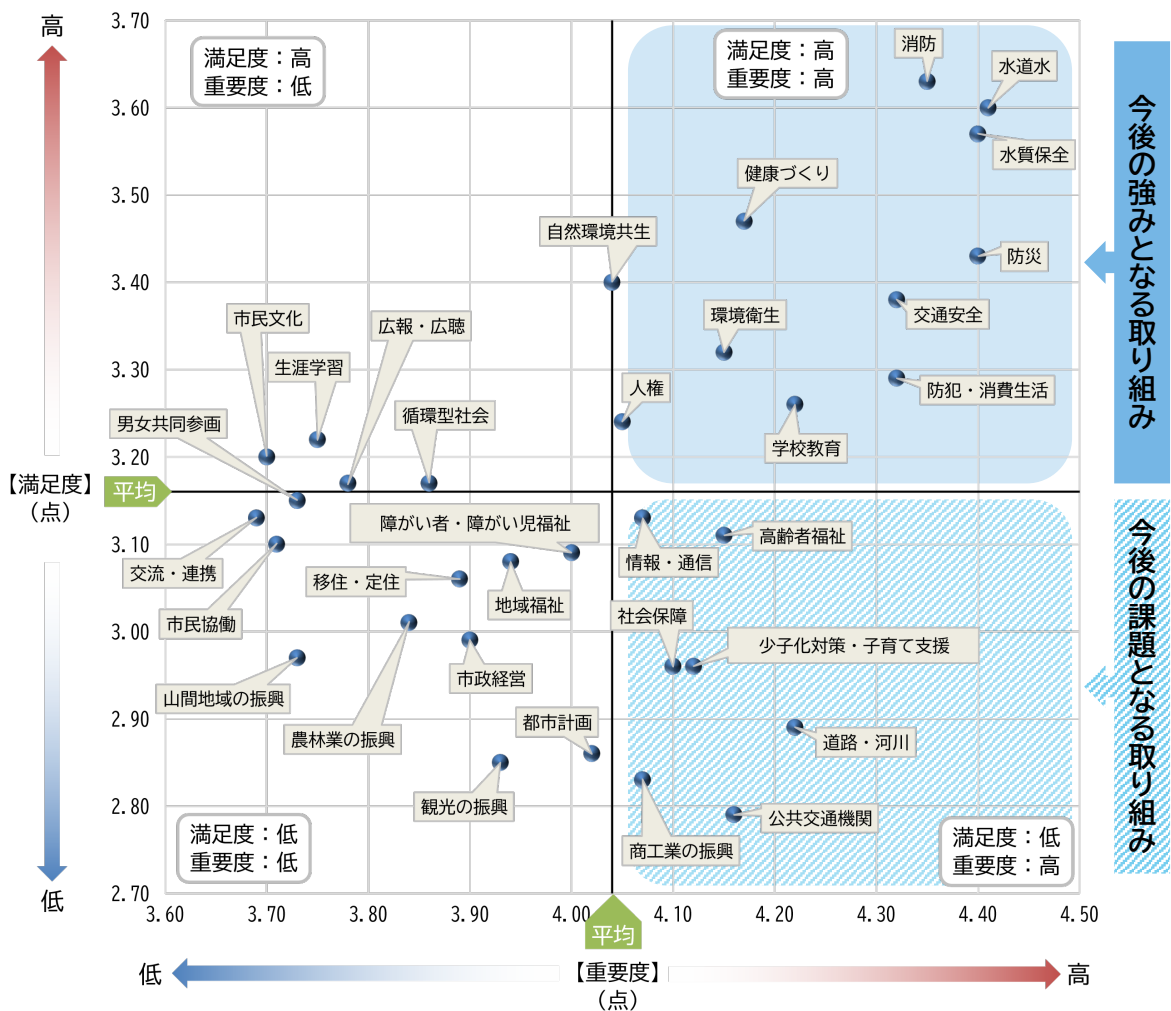
満足度・重要度分析：【公共交通機関】【道路・河川】【商工業の振興】【少子化・子育て支援】【社会保障】【高齢者福祉】【情報・通信】は今後の課題となる取り組み

各取り組みの満足度得点と重要度得点を散布図に展開し、満足度得点の平均値（3.16）と重要度得点の平均値（4.04）で4つの象限に区分します。

これによると、満足度が高く重要度が高い取り組みは、【消防】【水道水】【水質保全】【防災】【交通安全】【防犯・消費生活】【健康づくり】【環境衛生】【学校教育】などで、本市の強みとして活かしていくことが考えられます。

一方、満足度が低く重要度が高い取り組みは、【公共交通機関】【道路・河川】【商工業の振興】【少子化・子育て支援】【社会保障】【高齢者福祉】【情報・通信】などで、喫緊の課題として、取り組んでいくことが考えられます。

【満足度得点と重要度得点の散布図：市民（n=940）】



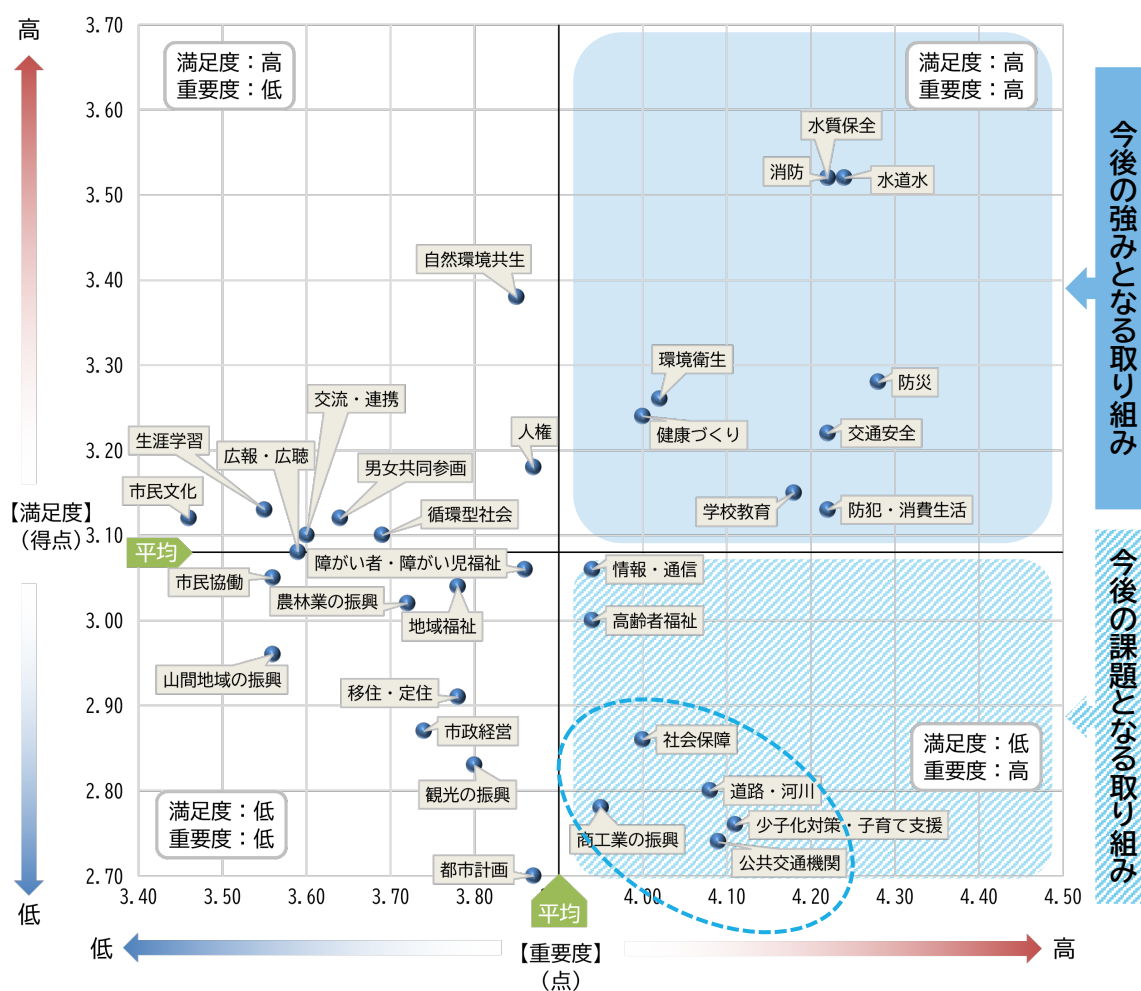
満足度・重要度分析（年齢別）：59歳以下では、特に【公共交通機関】【少子化・子育て支援】【道路・河川】【商工業の振興】【社会保障】が今後の課題として重要

59歳以下の散布図をみると、満足度得点の平均値（3.08）と重要度得点の平均値（3.90）は、全体の各平均値よりも低くなっています。

満足度が低く重要度が高い取り組みでは、特に【公共交通機関】【少子化・子育て支援】【道路・河川】【商工業の振興】【社会保障】は満足度が低く重要度が高い傾向を示しており、現役世代にとって重要な取り組みと考えられます。

また、参考として若年層が高萩市に足りないと感じているものをみると、多い順に「駅周辺の店舗（飲食店、娯楽施設など）」「買い物の場所（ショッピングセンターなど）」「レジャー施設」などとなっています。

【満足度得点と重要度得点の散布図：59歳以下（n=293）】



【高萩市に足りないもの：若年層】

若年層（n=126）：高萩市に足りないもの		
1位	駅周辺の店舗（飲食店、娯楽施設など）	67.5%
2位	買い物の場所（ショッピングセンターなど）	54.8%
3位	レジャー施設	28.6%
4位	交通機関（鉄道、バスなど）	21.4%
5位	観光地や施設	16.7%

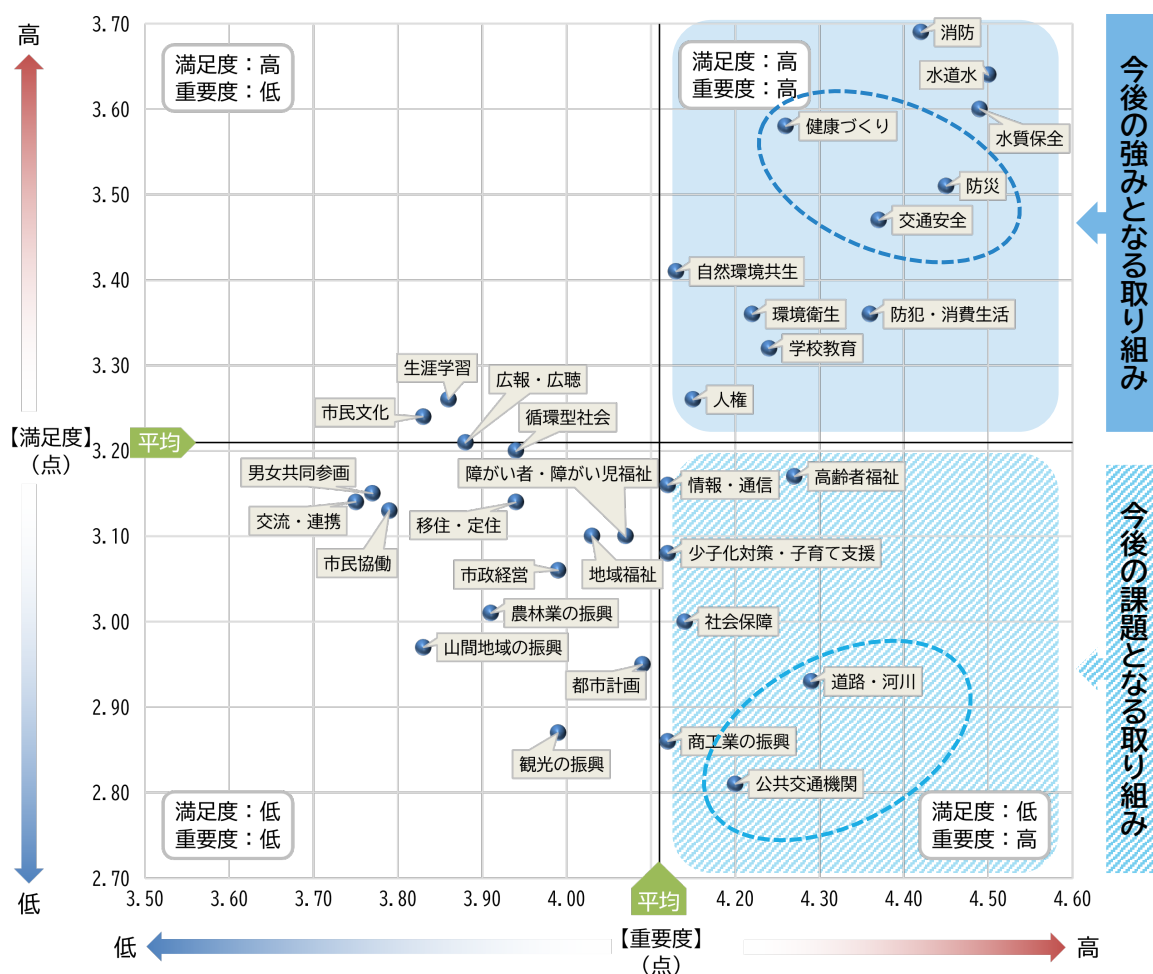
満足度・重要度分析（年齢別）：60歳以上では、特に【公共交通機関】【道路・河川】が今後の課題として重要

60歳以上の散布図をみると、満足度得点の平均値（3.21）と重要度得点の平均値（4.11）は、全体の各平均値よりも高くなっています。

満足度が高く重要度が高い取り組みでは、59歳以下と比較して【健康づくり】【防災】【交通安全】が満足度・重要度ともに高い項目となっています。

一方、満足度が低く重要度が高い取り組みでは、特に【公共交通機関】【道路・河川】は満足度が低く重要度が高い傾向を示しており、シニア世代にとって重要な取り組みと考えられます。

【満足度得点と重要度得点の散布図：60歳以上（n=635）】



(6) これからのまちづくり

まちの資源：「子どもたち」「子育て世代」「自然環境」「近隣市との連携」が大事

本市をよいまちにするための資源について年齢別にみると、59歳以下では「子どもたち」「子育て世代」が6割超と多く、60歳以上では「子どもたち」「自然環境（山林・海・水辺・川）」が6割超となっています。その他、年代に関わらず「近隣市との連携」が重要とされています。

どのようなまちを望むか：59歳以下では「教育と子育て環境」、60歳以上では「安心して充実した生涯」、若年層では「商業やレジャー施設」などが望まれている

これからどのようなまちを望むかについて年齢別にみると、59歳以下と60歳以上ともに「お互いを支え合い、健康で、子ども・高齢者・障がいのある人などを大切にするまち」が最も多く、そのほか、59歳以下では「子どもがたくましく成長する教育と子育て環境のよいまち」、60歳以上では「高齢者が生きがいを持ち、安心して充実した生涯がおくれるまち」などがそれぞれ多くなっています。

一方、若年層では住む人を増やすために必要だと思う支援策として、「商業施設やレジャー施設を増やすための支援を行うこと」が最も多く、次いで「新たに企業を誘致し働く場を増やすこと」「若い人へ経済支援すること」などとなっています。

【まちの資源：市民（年齢別）】

59歳以下 (n=293)：生かす資源		
1位	子どもたち	67.9%
2位	子育て世代	62.1%
3位	自然環境（山林・海・水辺・川）	53.2%
4位	近隣市との連携	40.3%
5位	県内主要都市へのアクセスの利便性	36.9%

60歳以上 (n=635)：生かす資源		
1位	子どもたち	63.6%
2位	自然環境（山林・海・水辺・川）	61.9%
3位	子育て世代	53.9%
4位	近隣市との連携	48.8%
5位	特技や専門性を持つ市民の活用	39.4%

【どのようなまちを望むか：市民（年齢別）】

59歳以下 (n=293)：どのようなまちを望むか		
1位	お互いを支え合い、健康で、子ども・高齢者・障がいのある人などを大切にするまち	37.5%
2位	子どもがたくましく成長する教育と子育て環境のよいまち	33.4%
3位	災害、交通事故、犯罪の少ない安全なまち	31.4%
4位	道路、公園、住宅などの生活環境のよいまち	24.6%
5位	高齢者が生きがいを持ち、安心して充実した生涯がおくれるまち	24.2%

60歳以上 (n=635)：どのようなまちを望むか		
1位	お互いを支え合い、健康で、子ども・高齢者・障がいのある人などを大切にするまち	47.2%
2位	高齢者が生きがいを持ち、安心して充実した生涯がおくれるまち	35.9%
3位	災害、交通事故、犯罪の少ない安全なまち	29.0%
4位	子どもがたくましく成長する教育と子育て環境のよいまち	23.1%
5位	ゴミや公害のない清潔・快適で自然環境を大切にするまち	15.0%

【人口を増やすために必要だと思う支援策：若年層】

若年層 (n=126)：住む人を増やすために必要な支援策		
1位	商業施設やレジャー施設を増やすための支援を行うこと	44.4%
2位	新たに企業を誘致し働く場を増やすこと	28.6%
〃	若い人へ経済支援すること	28.6%
4位	教育や子育ての環境を良くすること	22.2%
5位	若い人の就職に関して支援すること	21.4%

第6次高萩市総合計画〔後期基本計画〕

高萩市役所企画総務部企画財政課
〒318-8511 茨城県高萩市本町 1-100-1

令和8年3月



高萩市

Takahagi City